



週報

■4月は、『母子の健康月間』

第1521回例会 2018年4月26日 Vol.32/No.39

■本日の例会／第1522回 平成30年5月10日(木)

- 会長・幹事報告
- 各委員会報告・各委員長
- 会員卓話・生駒俊明 会員

【出席率状況報告】

- ・会員数……………51名
- ・出席者……………33名
- ・欠席者……………18名
- ・出席率……………64.71%
- ・4/12の修正出席率…74.51%

■会長挨拶



田中 寿 会長

先月から福岡の学校で先生たちの研修を請け負っています。

何を研修するのと言うと、生徒と先生たちの距離感をどう保つか、どうすれば上手く教えられるのかと

言う点の研修なのですが、皆さんはこれを聞いて教えるプロたちに何故?と思われると思いますが、実業系の高校と専門学校なのですが、まさしくそれぞれの分野の経験の長い先生方が生徒に教えているのですが、どうもうまく伝わらない。と言う悩みから始まった話です。

たまたま私が専門学校と短大で観光分野の講師を10年位やっていたご縁でお話を頂いたわけですが、最初の数日はそれぞれの先生方の授業を見学させて頂きました。

そこで一番先に目についたのは、電気関係の分野の先生でした。

そこでいろいろお話をしたのですが、結局は自身の技術レベルに比較して、学生たちに教える部分が多めに基礎的なものが多いので、わかっているやう、このくらいは解ってあたりまえみたいな感覚で教えてしまっているわけです。生徒側から見ると初めて見る者ばかりで非常に難しいと感じている、このギャップが原因でした。これは会社内でのOJTでも同じことなのですが、解っていない事を前提に教えることが大事なのですが、そこに気が付いていない先生が多いのには驚きでした。

それに、教える側は自身のキャラを理解する事が大事です、皆さんはこんな経験はありませんか?

学生時代にある先生は非常に優しいのですがどうも苦手だったり、すぐ怒鳴られたり拳骨を貰ったりする先生なのですが、卒業して後も来やすく声を掛けられる、親しみのある先生が居たりした経験はないでしょうか?

まさにこれが大きなポイントです、以前から学校におけるいじめの原因の70%は教員にあるという事が言われていますが、十数年前ですがうちの長女が中学校時代にいじめを受けたことがあります、いろいろと騒いだ挙句に原因は教員が放った冗談の一言をほかの生徒が囁き立てるように長女に浴びせたものでした、人にモノを教える側に立つ者は、自身のキャラがどう受け止められているのか、相手のパーソナルタイプがどのようなタイプなのかを知ることがすごく重要だと感じました。

■幹事報告

藤原昭公 副幹事



・ガバナー事務所、ガバナーエレクト事務所、都城地区事務所の執務について 4月28日(土)～5月6日(日)お休みになります。

・ロータリーの友事務所より

「ロータリーの友」縦組みで新コーナー「私の一冊」がスタートします。

ロータリアンの皆様にご紹介をしてみませんか?と原稿募集の案内が届いております。申込は事務局へ確認をお願いいたします。

■委員会報告 プログラム委員会

長友春雄 委員長



5月31日の例会は会員の時間として、会員増強についてと新設事業についてのグループの話し合いになります。

次年度幹事 篠原英介 委員長



2018年～2019年度の理事役員委員会名簿をボックスに入れました。副委員長までの分ですので確認をお願いいたします。

尚5月27日(日)の地区研修・協議会の出欠で委員長様が参加できない場合は副委員長へ代理をお願いいたします。

■会員卓話



甲斐裕隆 会員

お盆という言葉の由来をお話させていただきます。

ことのおこりは、お釈迦さまの弟子で神通力にすぐれた目連尊者が亡き母の姿を見通したところ、さぞかしいい世界に行っているだろうと思っていたのにもかかわらず、地獄の世界に落ちていたのです。

けちんぼうの罪で餓鬼道におちていた母の性格は地獄に落ちて同じで、食物を与えられると、自分ひとりで食べようとします。すると食物はその瞬間に燃えあがるのです。

自分の神通力が及ばなかった目連尊者は、悲しんでお釈迦さまのもとを訪れ相談しました。

するとお釈迦さまは、

「お前の母はむさぼりばかりで生きてきた。人に施すとか、与えることを一切しなかったからだ」とおっしゃいました。

そして「お前の母に、人に与えるというところを見てもらいなさい。そのためには、十方から僧侶を集め、七月十五日の日にいろいろな食物を供えて祈りなさい」と教えられたのです。その通りにして、ようやく母は布施する功德により地獄の苦しみから救えたのです。

そもそもお盆という言葉は、古代インドの言葉でウランバーナに由来しており、「さかさづりの苦しみ」を意味します。ウランバーナに漢字をあてると盂蘭盆となり、その一字をとって盆というわけです。

お釈迦さまは目連尊者に「目連よ、お前の体も両親がなければこの世に生まれてこなかった。だからお前が成仏するならば、その功德は両親はもちろん、先祖にまで及ぶのだ」と教えたのです。

このような話に由来する盂蘭盆会は、ご先祖の霊が、いっさいの苦しみからはなれ、み仏の世界で安らかにいられるよう祈るときです。ご先祖の霊をわが家に迎えてその霊とともに思い出を語りあい、生活をし、またみ仏の浄土にお送りします。

私たちを見守って訪れてくれるご先祖に感謝し、さらに死後の平安を祈ってお墓参りをいたしましょう。

竹内幹也 会員



第90回選抜甲子園大会は3月23日(金)の開会式～4月4日(水)の決勝戦まで13日間の熱戦が繰り広げられました。

宮崎県からは、52年振りとなる2校出場が決まり、我が親分 片木会員のお孫さんであります三藤成一郎君率いる延岡学園高校が出場致しました。

甲子園までの道のり

10月秋季高校野球九州大会が1月26日(金)に発表があり校長室に入って見学(おなじみの風景が間近に見れたことに感動しました)

報道陣の多さにびっくりし、待っている間はほぼ決まりと分かっているにもかかわらず緊張感があふれていました。携帯片手に北から発表・・・途中四国地区での番狂わせにざわめく場面もありましたが、テレビで、映る校長先生の背後に、当社のカレンダーがぼっかり映っておりました。

抽選会で大会5日目(3月27日)第2試合 国学院栃木と 英明(香川県)の勝者との対戦が決定しました。選手団は3月19日(月)7時に宿舎前集合 貸切バスにて空港へ向かいます。

〔旅行会社の仕事〕

- ・貸切バスの配車確認・運転手さんと行程の確認
 - ・選手の皆さんの搭乗券・座席割りの確認(監督・コーチは前方)
 - ・搭乗券配布・荷物預けの誘導
 - ・会場レイアウト確認・座席数・花束の確認
- 大変な一日が始まります。

開会式では自由席なので朝から保護者の皆さんと添乗員が並んで良い席を確保(5時スタンバイ)選手はライト側(1塁側)から入場しスタンド沿いに3塁側へ行進するので一塁側前方を狙って大変です。

選手宣誓、今年は、瀬戸内高校の新保利於(しんぽりお)主将が高校生らしく、野球が出来ることへの感謝を元気よく伝えてくれた。

開会式を含む試合までの7日間は、毎日 地元の高校や社会人野球のグラウンドにてまるまる一日実践練習を行った。

〔旅行会社の仕事〕

朝5時起床選手と貸切バスに乗って練習会場へ怪

発行/ 宮崎中央ロータリークラブ

- 事務局 〒880-0804 宮崎市宮田町10-25 宮田町ビル TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-0288
 - 例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30~13:30)
- 会長/田中 寿 副会長/山川 力 幹事/生駒俊明